



平成17年12月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年9月30日

上場会社名 株式会社ミルボン (コード番号：4919 東証第一部)
(URL <http://www.milbon.co.jp>)

問合せ先 代表者役職名 代表取締役社長 氏名 鴻池 一郎 (TEL:(06)6928-2331)
責任者役職名 常務取締役 氏名 木村 健一

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容)

- 法人税等の計上基準については、税金等調整前四半期純利益を基礎として算定される当四半期の負担すべき税額を計上しております。
- 利息の計算については、現金主義により計上しております。
- たな卸資産については実地棚卸を行っておらず帳簿金額を計上しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
(内容)

当連結会計年度から「固定資産の減損に係る会計基準」(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成15年10月31日 企業会計基準適用指針第6号)を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成17年12月期第3四半期財務・業績の概況(平成16年12月21日~平成17年9月20日)

(1)経営成績(連結)の進捗状況 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年12月期第3四半期	12,271		2,918		2,738		1,626	
16年12月期第3四半期								
(参考)16年12月期	15,322		3,326		3,163		1,833	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年12月期第3四半期	155	69		
16年12月期第3四半期				
(参考)16年12月期	171	34		

(注)売上高、営業利益等における前年同四半期の金額表示及びパーセント表示は、前年同四半期には連結決算を行っていないため記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期における美容業界は、サロンの重点顧客が若者からニューシニア層（30~50 歳代の大人の女性）へと移り、けん引役であったヘアカラー市場にも影響を与えました。ニューシニア層のおしゃれな白髪染めが成長市場として期待され、新製品や提案活動が積極的に行われましたが、若者のファッションカラーが一巡したことで、横這い傾向が続いております。パーマ市場は依然低迷している中、ヘアカラーをよりキレイに見せる為のサロントリートメント市場が伸びたことで、美容業界全体としては横這いであったと推測しております。

このような状況のもと、当社グループといたしましてはニューシニア層をサロンの重点顧客に定め、おしゃれなグレイカラーを提案する事で、ホームカラー派のサロンカラーへの取り込みを提案してまいりました。ニューシニア層の為の「プロマティスレフィナ」は依然好調に推移し、ファッションカラーは横這いでしたが、染毛剤部門を伸長することが出来ました。

また、2 月にリニューアル発売をしたサロントリートメント「ディーセス リンケージ EX」と昨年発売した髪の化粧液「エストクアル」が好調に推移した結果、ヘアケア用剤部門を大幅に伸長することができました。

さらに、5 月に発売したヘアカラー対応縮毛矯正剤「リシオ ラルーチェ」が好調に推移し、減少が続いていたパーマウェーブ用剤部門がプラスへと転じました。

一方、100%子会社の MILBON USA,INC.は、4 月にパーマウェーブ用剤の New Liscio を発売し、スタジオにおいて定期的に講習会を実施し、着実に窓口の拡大を行ってまいりました。

その結果第 3 四半期は売上高 122 億 71 百万円、営業利益 29 億 18 百万円、経常利益 27 億 38 百万円、当第 3 四半期純利益 16 億 26 百万円となりました。

部門別売上高は次の通りであります。ただし、前年は第 3 四半期連結財務諸表を作成していないことから、比較は当第 3 四半期連結売上高と前第 3 四半期個別売上高との比較により行っております。

部 門	売上高（百万円）	構成比（％）	前年同期 （連結）比（％）	〔参考〕 前年同期 （個別）比（％）
パーマウェーブ用剤	1,728	14.1		107.2
ヘアケア用剤	5,552	45.2		113.5
染毛剤	4,709	38.4		104.0
その他	280	2.3		97.6
合 計	12,271	100.0		108.4

1. パーマウェーブ用剤

ヘアカラー毛対応の縮毛矯正剤の新製品「リシオ ラルーチェ」を 5 月に発売いたしました。同時に、矯正毛専用のベース剤「ピュアエッセンス」も発売し、サロンさまの評価も高く堅調に推移しております。その結果、ストレートパーマ分野が伸長し、ウェーブパーマの落ち込みを補い、5 年間続いていたパーマウェーブ用剤部門の売上の減少を食い止め、伸長することが出来ました。

2. ヘアケア用剤

昨年に続き、ヘアカラー毛対応のサロントリートメント分野の製品が好調に推移しました。素材美を求める大人の女性をターゲットに、髪質別にアイテムを選択する「サラサラの手触りと、毛先のしなやかなおさまり」にこだわったサロントリートメント「ディーセス リンケージ EX」を 2 月にリニューアル発売いたしました。発売 7 ヶ月で年間の販売目標を達成し、現在も好調に推移しています。その結果、ヘアケア用剤部門では前年を大きく上回る伸長をすることができました。

3. 染毛剤

サロンカラーの中心顧客が若者から 30~50 歳代のニューシニア層へ移行した事で、グレイカラー市場が伸長傾向にある中、昨年に続き、おしゃれなグレイカラー提案の為の「プロマティスレフィナ」が依然好調に推移しています。また、サロンカラーならではのホイルワーク技術を推進する「ホイルワークベーシック」や、サロンカラーの高価値化を推進する為の「素材美提案プロモーション」等を開発し、ホームカラー派のサロンカラーへの取り込み提案をしまいいりました。さらに、「プロマティスフレイプ」と「プロマティスフレイプ-アド」に新色(18色)を3月に追加した事で、ファッションカラーの落ち込みを低減する事ができ、9月に発売した「プロマティスレフィナ」の追加色(15色)が順調に推移していることで、グレイカラー分野が伸長し、染毛剤部門全体を伸長することができました。

4. その他

特筆すべき事項はありません。

(2)財政状態(連結)の変動状況

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年12月期第3四半期	15,974	11,919	74.6	1,140 69
16年12月期第3四半期				
(参考)16年12月期	14,546	10,896	74.9	1,038 60

【連結キャッシュ・フローの状況】

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年12月期第3四半期	2,091	1,939	723	693
16年12月期第3四半期				
(参考)16年12月期	2,350	1,139	643	1,269

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における現金及び現金同等物(以下「キャッシュ」という)は、営業活動で獲得したキャッシュを、固定資産の取得等の投資活動及び借入金の返済や配当金の支払等の財務活動で使用した結果、前連結会計年度末に比べて5億75百万円減少し、当第3四半期末残高は6億93百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは20億91百万円となりました。主な源泉は税金等調整前四半期純利益28億3百万円、非資金取引の減価償却費4億65百万円、売上債権の減少2億81百万円、仕入債務の増加4億74百万円であり、主な使途は棚卸資産の増加2億59百万円と法人税等の支払額13億68百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは19億39百万円となりました。主な使途はゆめが丘新工場建築等に係る有形固定資産の取得による支出16億92百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは7億23百万円となりました。主な使途は長期借入金の返済77百万円及び株主への配当金支払額7億24百万円であります。

3.平成17年12月期の連結業績予想(平成16年12月21日~平成17年12月20日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	16,737	3,523	2,080

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 194円 46銭

[業績予想に関する定性的情報等]

美容業界を取り巻く環境は引き続き厳しい情勢が続くことが予測されます。

当社グループといたしましては、ニューシニア層をサロンの重点顧客に定め、ニューシニア層のカラーニーズに対応する、サロンカラーの「高価値化戦略」を提案してまいります。10月には、「ディーセス シリーズ」から、毛先のおさまりにこだわったホームケア製品「アウフェ」を発売する予定です。9月現在ではテスト販売中ですが、サロン様の評価も高く、好調な市場導入が見込まれます。

MILBON USA,INC.においては、7月にサロントリートメント ニゼル DS (日本名リンケージ EX) を発売しており、またニューヨークを中心とした 100 サロンへのダイレクトな販売活動も開始しております。

その結果、当連結会計年度の連結目標を達成できると考えております。

[業績予想の利用に関する注意文言等の記載欄]

本資料は、当社の評価を行うための参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資等の最終決定は、ご自身の判断でなされるようお願いいたします。投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承下さい。当資料に掲載されている予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、資料作成時点の判断ですが、その内容の安全性・正確性を会社として保証するものではありません。

4. 四半期連結財務諸表等
 (1) 四半期連結貸借対照表

区 分	当年第3四半期 (平成17年9月20日)		前連結会計年度の要約連結貸借対照表 (平成16年12月20日)		
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	
(資産の部)					
流動資産					
1. 現金及び預金		713,609		1,304,988	
2. 受取手形及び売掛金		2,216,498		2,498,078	
3. 有価証券				11,015	
4. たな卸資産		1,708,893		1,451,532	
5. その他		257,412		243,690	
貸倒引当金		14,958		17,305	
流動資産合計		4,881,456	30.6	5,491,998	37.8
固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	4,972,281		3,676,556		
減価償却累計額	1,627,209	3,345,072	1,446,457	2,230,099	
(2) 機械装置及び運搬具	2,900,876		1,988,815		
減価償却累計額	1,473,522	1,427,353	1,368,874	619,941	
(3) 土地		3,220,230		3,220,230	
(4) 建設仮勘定				707,032	
(5) その他	1,119,804		993,703		
減価償却累計額	866,172	253,631	798,994	194,709	
有形固定資産合計		8,246,287	51.6	6,972,012	47.9
2. 無形固定資産		207,978	1.3	202,736	1.4
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券		1,915,853		1,286,432	
(2) 前払年金費用		105,674			
(3) その他		628,584		605,092	
貸倒引当金		11,444		11,807	
投資その他の資産合計		2,638,667	16.5	1,879,717	12.9
固定資産合計		11,092,934	69.4	9,054,466	62.2
資産合計		15,974,390	100.0	14,546,464	100.0

区 分	当 年 第 3 四 半 期 (平成17年 9 月 20 日)		前 連 結 会 計 年 度 の 要 約 連 結 貸 借 対 照 表 (平成16年12月20日)	
	金 額 (千 円)	構 成 比 (%)	金 額 (千 円)	構 成 比 (%)
(負 債 の 部)				
流 動 負 債				
1. 支 払 手 形 及 び 買 掛 金	1,844,568		1,372,230	
2. 短 期 借 入 金	83,334			
3. 1 年 以 内 返 済 予 定 の 長 期 借 入 金	35,952		86,452	
4. 未 払 金	730,060		807,519	
5. 未 払 法 人 税 等	461,448		688,040	
6. 返 品 調 整 引 当 金	13,505		13,505	
7. 賞 与 引 当 金	198,410		42,540	
8. そ の 他	190,611		302,931	
流 動 負 債 合 計	3,557,889	22.3	3,313,220	22.8
固 定 負 債				
1. 長 期 借 入 金	104,273		131,237	
2. 退 職 給 付 引 当 金			100,654	
3. そ の 他	392,495		104,902	
固 定 負 債 合 計	496,768	3.1	336,794	2.3
負 債 合 計	4,054,657	25.4	3,650,014	25.1
(資 本 の 部)				
資 本 金	2,000,000	12.5	2,000,000	13.7
資 本 剰 余 金	199,501	1.3	199,473	1.4
利 益 剰 余 金	9,201,252	57.6	8,348,471	57.4
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	529,457	3.3	356,401	2.5
為 替 換 算 調 整 勘 定	1,249	0.0	1,165	0.0
自 己 株 式	11,727	0.1	9,061	0.1
資 本 合 計	11,919,732	74.6	10,896,450	74.9
負 債 及 び 資 本 合 計	15,974,390	100.0	14,546,464	100.0

(2) 四半期連結損益計算書

区 分	当 年 第 3 四 半 期 (自 平成16年12月21日 至 平成17年 9 月20日)			前連結会計年度の要約連結損益計算書 (自 平成15年12月21日 至 平成16年12月20日)		
	金額 (千円)		百分比 (%)	金額 (千円)		百分比 (%)
売 上 高		12,271,437	100.0		15,322,410	100.0
売 上 原 価		4,214,991	34.3		5,505,851	35.9
売 上 総 利 益		8,056,446	65.7		9,816,558	64.1
販売費及び一般管理費		5,138,095	41.9		6,489,831	42.4
営 業 利 益		2,918,350	23.8		3,326,726	21.7
営 業 外 収 益						
1. 受 取 利 息	1,390			495		
2. 受 取 配 当 金	15,232			7,615		
3. 投資有価証券売却益	3,109			63,894		
4. 仕 入 割 引	10,434			13,950		
5. 社 宅 負 担 金	12,698			16,664		
6. そ の 他	17,694	60,560	0.5	31,575	134,194	0.8
営 業 外 費 用						
1. 支 払 利 息	3,991			3,016		
2. 投資有価証券売却損	3,264			16,805		
3. 売 上 割 引	231,652			272,007		
4. そ の 他	1,412	240,321	2.0	5,721	297,549	1.9
経 常 利 益		2,738,589	22.3		3,163,372	20.6
特 別 利 益						
1. 固 定 資 産 売 却 益				1,258		
2. 投資有価証券売却益	131,874			9,888		
3. 貸倒引当金戻入額	2,350	134,224	1.1	10,914	22,061	0.1
特 別 損 失						
1. 固 定 資 産 除 却 損	4,988			19,929		
2. 役員退職慰労金				24,522		
3. 貸倒引当金繰入額				4,560		
4. 投資有価証券評価損	9,358					
5. 確定拠出年金移行損	54,560					
6. そ の 他		68,907	0.6	628	49,640	0.3
税 金 等 調 整 前 四半期(当期)純利益		2,803,906	22.8		3,135,792	20.4
法人税、住民税及び事業税	1,109,958			1,321,192		
法 人 税 等 調 整 額	66,952	1,176,911	9.5	18,552	1,302,640	8.5
四半期(当期)純利益		1,626,995	13.3		1,833,152	11.9